

# 2015年… 区の予算は 1月14日、共産党区議団が 316項目の予算要望を提出



佐藤・北川両副区長に要望書を手渡す

## 第39回区政世論調査… 区への要望で防災が第1位

第39回  
荒川区政世論調査  
《報告書》

昨年8～9月実施の区民世論調査結果が議会に報告されました。膨大なもので、今後区報などに掲載されます。その中で、「区に力を入れてほしいもの」の問い合わせに、今年も1位「地震などの防災対策」2位「高齢者福祉の充実」3位「用事・児童の子育て支援の充実」4位「地域防犯の取り組み」5位「学校教育の充実」「子どもの安全対策」が並んでいます。基本的には、毎年大きな変化はありません。

今回は、横山区議が求めていた「年齢や世帯状況」別のクロス集計が行われています。特徴は、「子どもの安全対策」が家族形成期（3位 39歳以下夫婦、一番上が就学以下）、家族成長前期（2位 同居の子どもが小中生）のみであげられています。また、高齢期（65歳以上で子どもがいる場合学校卒業）では、「放置自転車対策」が4位で上位に位置しています。これはごく一部です。当たり前のような結果ではありますが、行政が予算の使い方や施策の優先順位を決める際の地域性とあわせた重要な指標で注目されます。

まちの話題あれこれ

今年の新成人は、全国126万人、荒川区では1879人で昨年のより若干増加したようです。いずれにしてもこれからを担う世代であり、大いに期待したいものです。同時に、若者を巡る時代の流れは決して良いとはいえない。い捨て、非正規・低賃金労働の横行、「戦争する国づくり」…など。いまこうした流れに抗って、声を上げ行動する若者が増えていることは希望です。合わせて感慨深いのは、今年成人を迎えた青年は、戦後70年の節目、そして阪神淡路大震災の年に生まれ、東日本大震災から4年たつた中で新たな一步を踏み出す事になります。大変な災禍に直面し、それを乗り越えて行くためには、悲しみを噛みしめながら未来へ能動的に働きかける、その

**子ども貧困やアベノミクスの暮らし・命・営業を守る防波堤の役割を求める**

1月14日、日本共産党区議団は、これまでの区内団体・個人のみなさんからの聞き取り、相談で寄せられたご意見、ご要望、そうした声に基づく議会質問など改めてまとめた316項目の予算要望を区に提出しました。

とにかく消費税増税や「アベノミクス」による格差拡大、年金削減などが、区民の暮らしと地域経済へ深刻な打撃を

与えているだけに、暮らしの防波堤としての基礎自治体『荒川区の役割発揮が求められています。

このような中で暮らし応援を最優先し、高すぎる保険料の抑制や子育て施設とともに医療・介護施設やサービスの充実を図るように求めています。

先順位の見直しをはじめ、施策の優先順位の見直しをお寄せ下さい。

子ども貧困やアベノミクスの暮らし・命・営業を守る防波堤の役割を求める

子育て世代への教育や保育の負担軽減や環境整備などは、緊急課題です。財源としては250億円の基金の計画的活用やタブレットパソコン全児童・生徒への配布32億円など

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

562

2015年1月18日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax 3806-9246  
メール arajcp@tcn-catv.ne.jp  
町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
メール yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

## 裏面 子ども子育て新制度 で保育料はどうなる…など

### 定例法律相談会

2月2日(月)  
午後6時～8時  
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などを紹介します。

生活相談は、随時受け付けています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627



2015年荒川区の成人式の様子

## **新年度 保育は…**

# 子ども子育て新制度で 保育料はどうなる…？

### 夫婦・子ども2人のモデルケースで試算

現階層		
区分		
生活保護		A
所得税・住民税非課税		B
住民税均等割課税		C 1
区民税所得割5,000円未満		C 2
区民税所得割5,000円以上		C 3
所得税課税	0 ~	1,499 D 1
	1,500 ~	8,499 D 2
	8,500 ~	14,999 D 3
	15,000 ~	29,999 D 4
	30,000 ~	44,999 D 5
	45,000 ~	59,999 D 6
	60,000 ~	74,999 D 7
	75,000 ~	89,999 D 8
	90,000 ~	112,999 D 9
	113,000 ~	142,999 D 10
	143,000 ~	172,999 D 11
	173,000 ~	202,999 D 12
	203,000 ~	232,999 D 13
	233,000 ~	262,999 D 14
	263,000 ~	292,999 D 15
	293,000 ~	322,999 D 16
	323,000 ~	352,999 D 17
	353,000 ~	502,999 D 18
	503,000 ~	652,999 D 19
	653,000 ~	802,999 D 20
	803,000 ~	D 21

新階層		保育料(案)					
区分		3歳未満		3歳		3歳以上	
		第1子	第2子	第1子	第2子	第1子	第2子
生活保護		0	0	0	0	0	0
所得税・住民税非課税		0	0	0	0	0	0
区民税均等割課税		1,900	950	1,300	650	1,300	650
区 民 税 所 得 割 課 税	0 ~	4,999	2,400	1,200	2,000	1,000	2,000
	5,000 ~	22,699	3,100	1,550	2,700	1,350	2,600
	22,700 ~	50,399	6,700	3,350	5,600	2,800	5,600
	50,400 ~	58,799	8,300	4,150	7,300	3,650	7,200
	58,800 ~	66,599	9,400	4,700	9,300	4,650	9,200
	66,600 ~	84,599	15,400	7,700	10,900	5,450	10,800
	84,600 ~	102,599	19,100	9,550	12,700	6,350	12,600
	102,600 ~	120,599	21,500	10,750	14,300	7,150	14,200
	120,600 ~	138,599	23,600	11,800	15,800	7,900	15,700
	138,600 ~	156,599	25,500	12,750	17,000	8,500	16,900
	156,600 ~	174,599	27,500	13,750	18,200	9,100	
	174,600 ~	192,599	29,200	14,600	19,500	9,750	
	192,600 ~	210,599	31,000	15,500	20,700	10,350	
	210,600 ~	228,599	32,500	16,250	21,600	10,800	
	228,600 ~	246,599	34,200	20,520			
	246,600 ~	255,599	35,700	21,420			
	255,600 ~	264,599	37,200	22,320			
	264,600 ~	273,599	38,500	23,100			
	273,600 ~	282,599	40,000	24,000			
	282,600 ~	327,599	43,400	30,380			
	327,600 ~	372,599	48,900	34,230			
	372,600 ~	417,599	53,700	37,590			
	417,600 ~		57,500	40,250			

4月から子ども子育て支援新制度が実施されます。この中で新制度に移行する区立幼稚園と子ども園のワタナベ学園、公私立保育園の保育料の設定について区議会に報告されました。

(幼稚園、認証保育園などは、これまでと変更はありません)

これまで、保育料の基準は所得税でしたが、住民税額が基準に変更になります。そのため控除額や控除の種類も若干変更になるために、国モデルで計算し値上げの影響を抑える対策がとられます。大多数は、月額500円前後の値下げですが、280人ほどの方が

9月から値上げになりそうです。5千円～1万円程度で、最大月額12000円程度値上げの方がいそうです。制度変更で値上げになるのは、何らかの対策をとる必要があります。





9割は月500円値下げ  
280世帯で5千～1・2万円値上げ

3月14日から常磐線など上野品川から横浜方面へ直通・・区内上野駅止まりだった常磐線、高崎線などが東京駅に乗り入れ、それに伴つてダイヤも大幅に改正。荒川区的には、当初このダイヤ改正で区内の電車が区内駅を通過するという話もありましたが、これまで通り停車するようです。

でも「上野発の夜行列車」などの旅情は無くなりますね。

## 私立保育園の 東京都補助も変更

新制度に移行する中で、私立保育園への東京都の補助（サービス推進費）内容が変更になりそうです。障害児・アレルギー児加算など充実もありますが、逆に延長保育などの加算補助が減額になる場合もあります（区内では影響なし）。また、高齢者交流事業加算などが廃止になります。必要な事業充実の予算は確保したいものです。

補助加算項目		現行	新年度	増減	
障害児保育(特別支援対象)		34000円	45000円	プラス	
障害児保育(その他)		知的 身体	28060円 21220円	38000円 31000円	プラス プラス
アレルギー児対応		15720円	18000円	プラス	
延長保育	ゼロ歳児	日額	910円	月額17200円	マイナス
	2・3時間延長	日額	610円	月額10610円	マイナス
	4時間延長	日額	640円	月額11060円	マイナス

障害児補助引上げ  
交流事業補助など廃止も